

部局名	生涯学習部	所属名	公民館	所属長名	五十嵐 容子	電 話	485-4811
-----	-------	-----	-----	------	--------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	4259	事務事業名称	緑が丘公民館使用料還付金					短縮コード	経常		臨時	4259
予算区分	会計	01	一般会計	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	13	諸費
区 分	☐ 自治事務 ☐ 法定受託事務			根拠法令等		社会教育法，公民館の設置及び運営に関する基準，八千代市立公民館の設置及び管理に関する条例，八千代市立公民館管理規則						
☒ その他												
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）												
緑が丘公民館ホールの使用料を過年度に徴収し，利用者の責めに帰することができない事由により使用できなかったことによる納付者への還付が発生したときの事務手続きのため。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	6本の柱（章）	02	第2章教育文化都市をめざして					
事業区分「その他」のため評価対象外					大項目（節）	02	第2節生涯学習					
					中 項 目	01	1. 生涯学習					
					小項目（施策）	01	(1)市民の学びの支援					
						02	(2)学びを通じた交流と成果の還元					
					細 項 目	01	①ニーズに対応した学習機会の提供					
						01	①学習成果の発表と交流の支援					
				実施計画の計画事業								
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円	

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	緑が丘公民館ホール使用料を過年度に納付したが，自らの事情で使用できなくなったことにより還付が発生した利用者。							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成24年度に実際に行ったこと： 緑が丘公民館ホールの使用ができなくなり，過年度に徴収した使用料の還付手続きを行った。							
	※平成25年度に計画していること： 過年度に徴収した使用料の還付が発生した場合，その手続きを行う。							
意図 （何を狙っているのか）	過年度に徴収した使用料の過誤納金を返還する。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	23年度	24年度		25年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	事業区分「その他」のため評価対象外	なし					
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	事業区分「その他」のため評価対象外	なし					
	指標2							
	指標3							
成果指標	指標1	事業区分「その他」のため評価対象外	なし					
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード		4259	事務事業名称	緑が丘公民館使用料還付金			所属名	公民館
			単位	2 3 年度	2 4 年度		2 5 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円					
		地方債	千円					
		一般財源	千円	0	0	2	0	
		その他	千円					
	主な事業費の内訳					償還金利子及び割引料1,480円		
	人件費 (B)			千円	0	0	4.1	0
トータルコスト (A) + (B)			千円	0	0	6.1	0	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由				
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☐ 結び付いている		事業区分「その他」のため評価対象外				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☒ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		事業区分「その他」のため評価対象外				
			☐ 達成していない						
			☒ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		事業区分「その他」のため評価対象外				
			☐ 可能性はない						
			☒ 評価対象外事項						
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☐ 現状のままでよい		事業区分「その他」のため評価対象外				
			☐ 見直す必要がある						
☒ 評価対象外事項									
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある		事業区分「その他」のため評価対象外				
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性はある						
			☒ 可能性がない						
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、 具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等						
			☐ 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用						
			☐ I T 化等の業務プロセスの見直し						
			☐ 受益者負担の見直し						
			☐ 類似事業との統合・役割見直し		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 （所管部署）	
			☐ 上記以外の方法						
			⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある				
	☐ ない								

コード	4259	事務事業名称	緑が丘公民館使用料還付金			所属名	公民館
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			事業区分「その他」のため評価対象外		
		☐ 手法プロセスの改革・改善					
		☐ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☐ その他						
☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了							
☐ 現状のまま継続							
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			事業区分「その他」のため評価対象外
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☐	☐	
			不 変	☐	☐	☐	
			低 下	☐	☐	☐	

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など							
事業区分「その他」のため評価対象外							

所属長コメント	事業区分「その他」のため評価対象外						
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続		事業区分「その他」のため評価対象外				
	☐ 手法プロセスの改革・改善						
	☐ 事業規模の拡大・縮小						
	☐ 統合・役割見直し						
☐ その他							
☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了							
☐ 現状のまま継続							